

# 平成28年に叙勲・褒章を受章された方々

(発令順)

## ◇瑞宝双光章

木村 政一さん  
(野上 教育功労)



昭和23年に上小川村立上小川中学校に奉職され、大宮中学校教諭、太子町立大沢小学校教頭を経て昭和59年に久隆小学校長に栄進なされました。昭和63年に退職されるまで長きにわたり、確固たる教育理念と生徒への深い愛情をもって、学校教育の進展に貢献なされました。



## ◇瑞宝小綬章

荒井 保さん  
(中富町 自治功労)



昭和38年に県農林水産部農産園芸課職員に奉職され、総務部管財課長、議会事務局次長兼総務課長、福祉部次長、鹿行地方総合事務所長を歴任なされました。その後平成11年に退職されるまで、豊かな行政経験と卓抜なる見識を持って、地方自治の発展に貢献なされました。



## ◇旭日双光章

菊池 正氣さん  
(舟生 文化財保護功労)



高等学校を卒業後、家業である西の内紙製作に従事し、伝統的な技法を守り現在に至るまで50年以上にわたり、郷土の伝統文化の推進に尽力なされています。この間、手漉き和紙の直売所「紙のさと」を開業、その後「紙のさと和紙資料館」を開設し、様々な活動に取り組みされております。



## ◇瑞宝単光章

木村 宗之さん  
(西野内 国勢調査功労)



昭和40年に国勢調査員に任命されて以来、連続10回、45年の長きにわたり従事され、その責務を確実に遂行なされました。さらに、農林業センサス調査連続10回、県農業基本調査20回、住宅・土地統計調査、事業所・商業統計調査員として通算70回の各種調査に従事なされました。



## ◇瑞宝単光章

木村 一雄さん  
(小瀬沢 消防功労)



昭和28年に小瀬村消防団員として入団、昭和31年の村合併後、緒川村消防団部長を経て、平成元年に副分団長に栄進なされました。平成5年に退団されるまで、39年の長きにわたり豊富な経験と知識を活かし地域防災力の向上に精励され、消防行政の発展に尽力なされました。



## ◇瑞宝単光章

杉山 克夫さん  
(小場 郵政業務功労)



昭和46年に水戸郵便局集配課に奉職され、水戸中央郵便局第二集配課を最後に、平成20年に退職なされました。その間、37年の長きにわたり、郵政の社会的役割と使命を深く認識し、円滑な業務運営と郵政事業の発展に貢献なされました。



## ◇瑞宝単光章

河野 碩也さん  
(高部 消防功労)



昭和22年隆郷村消防団員として入団、昭和31年の村合併後美和村消防団副分団長を経て、昭和55年に分団長に栄進なされました。その後退団されるまで、35年の長きにわたり、村民の生命財産を守るため日夜献身的に精励され、消防活動の推進に尽力なされました。



## 叙勲・褒章とは…

栄典として、国家または公共に対し、功労のある方へ勲章を授けることを叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績のある方へ、褒賞の記章を授与することを褒章といいます。

生存者に対する叙勲・褒章は、原則として春と秋の年2回行われています。戦後一時停止なされていましたが、1964年から叙勲、1978年からは褒章が再開なされました。

## ◇瑞宝双光章

松平 勝男さん  
(長倉 教育功労)



昭和22年に八里小学校に奉職され、野口小学校教諭、大宮西小学校教頭を経て、昭和60年に長倉小学校長に栄進なされました。平成元年に退職されるまで長きにわたり、教育一筋に打ち込み卓越した指導力と深い研究心をもって、学校教育の進展に貢献なされました。



## ◇瑞宝双光章

山田 源一さん  
(中富町 労働行政事務功労)



昭和22年に常陸大宮公共職業安定所に奉職され、日立・水戸公共職業安定所、県商工労働部職業安定課・失業保険課を経て、水海道公共職業安定所や下館公共職業安定所の所長を歴任なされました。昭和61年に退職されるまで長きにわたり、労働行政の進展に尽力なされました。



## 1/12 新年賀詞交歓会を開催しました

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で約300人が参加して盛大に開催なされました。

はじめにアトラクションとして、「津軽三味線悠絃会」の皆さんによる演奏が披露され、力強いバチの響きと柔らかい音色に会場からたくさんの拍手が上がっていました。

その後、市長や来賓の新年のあいさつに続き、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付等をしていただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。最後は、昨年「常陸大宮さん」認証品となったゆずサイダーで乾杯し、新しい年の出発を祝いました。



▲津軽三味線悠絃会の演奏



▲ 特産品のゆずサイダーで乾杯